




別表2

(2019-1回)

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">1</td></tr> <tr><td>書名</td><td>どこがながいか わかる?</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 みやにしたつや</td></tr> <tr><td></td><td>絵 みやにしなつや</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>金の星社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年11月</td></tr> </table>	1		書名	どこがながいか わかる?	著者等	著 みやにしたつや		絵 みやにしなつや	出版社	金の星社	定価	1,300	対象	幼児～小学校低学年	発行	2018年11月	<p>ぼくキリン どこがながいか わかる?ぼくゾウ どこがながいか わかる?ぼくカメレオン どこがながいか わかる?...。ながいのはキリンの首、ゾウのはな、カメレオンの舌。ほかにもネズミやヘビ、海にいるクラゲなど、登場する動物たちのもっている、からだの特徴を問いと答えで楽しく紹介されている。絵本のめくりも、たてにめくることで、描かれている絵とことばが生かされている。</p> <p>単純な色づかいであるが、絵が大胆に表現されており、独特のおおらかさとユーモアが楽しめる絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>		
1																				
書名	どこがながいか わかる?																			
著者等	著 みやにしたつや																			
	絵 みやにしなつや																			
出版社	金の星社																			
定価	1,300																			
対象	幼児～小学校低学年																			
発行	2018年11月																			
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">2</td></tr> <tr><td>書名</td><td>どんどんばし わたれ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 こばやしえみこ</td></tr> <tr><td></td><td>絵 ましませつこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>こぐま社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>900</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年10月</td></tr> </table>	2		書名	どんどんばし わたれ	著者等	著 こばやしえみこ		絵 ましませつこ	出版社	こぐま社	定価	900	対象	幼児～小学校低学年	発行	2018年10月	<p>♪どんどんばし わたれ さあ わたれ こんこが でのぞ さあ わたれ どんどんばし わたれ さあ わたれ ぼんぼこ でのぞ さあ わたれ...♪耳に心地よい二拍子のリズムに合わせて、ズンズン元気に歩いて橋をわたっていくと、きつねやたぬきなど次々とどうぶつがふえていく...。もともとは、すこし大きな子どもたちがあそぶ、通りゃんせと同じような門くぐりあそびのうた。いまこのうたが乳幼児にも楽しめるのはこのうたの軽快なリズムにある。和風のあたたかみがあり、表情ゆたかな動きのある絵は、わらべうたの楽しさを存分に伝えてくれる絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>		
2																				
書名	どんどんばし わたれ																			
著者等	著 こばやしえみこ																			
	絵 ましませつこ																			
出版社	こぐま社																			
定価	900																			
対象	幼児～小学校低学年																			
発行	2018年10月																			
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">3</td></tr> <tr><td>書名</td><td>にぎやかなおでん</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 犬飼由美絵</td></tr> <tr><td></td><td>絵 出口かずみ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>教育画劇</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,100</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年11月</td></tr> </table>	3		書名	にぎやかなおでん	著者等	著 犬飼由美絵		絵 出口かずみ	出版社	教育画劇	定価	1,100	対象	幼児～小学校低学年	発行	2018年11月	<p>おでんたちが だしのおふろにつかって おしゃべりに夢中。こんにゃくは、こんにゃくいもで畑にいた頃の楽しかった話をし、はんぺんもじぶんが魚で海にいた時の話をうれしそうに語り始める。それをきいていた、がんもぼうやと、つみれじいさんたちも自慢比べに加わって...。やっぱりうみだ! いやいやはたけ! と大きわぎ。ところが、この自慢比べを、じっと聞いていた、だいこんとたまごが声をあげた...</p> <p>おおらかなタッチの絵と会話文が、ぴったりあっており、おでんがより身近に感じられる絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>		
3																				
書名	にぎやかなおでん																			
著者等	著 犬飼由美絵																			
	絵 出口かずみ																			
出版社	教育画劇																			
定価	1,100																			
対象	幼児～小学校低学年																			
発行	2018年11月																			
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">4</td></tr> <tr><td>書名</td><td>イワシ むれで いきる さかな</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 大片忠明</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>福音館書店</td></tr> <tr><td>定価</td><td>900</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年4月</td></tr> </table>	4		書名	イワシ むれで いきる さかな	著者等	著 大片忠明	出版社	福音館書店	定価	900	対象	幼児～小学校中学年	発行	2019年4月	<p>海の中を、大きなかたまりが動いている。ゆらゆらとかたちをかえながら、ときおりきらりとひかっているのは、イワシの群れ。かぞえきれないほど、たくさんのイワシがあつまって群れをつくっていたのだ。イワシの群れはプランクトンをたべながら海の中をおよぐ。しかし、海の中はイワシにとってキケンがいっぱい、イワシを食べるコアジサシ、たくさんのおおきなブリ、そして、人間にとってもイワシは大事な食べ物...。なかまを、うばわれながらもまた集まって大きな群れを作っていくイワシ。画面いっぱいに描かれた動きのあるイワシに圧倒される一冊。</p> <p>(分類番号 487)</p>				
4																				
書名	イワシ むれで いきる さかな																			
著者等	著 大片忠明																			
出版社	福音館書店																			
定価	900																			
対象	幼児～小学校中学年																			
発行	2019年4月																			
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">5</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ソフィー、がっこうへいく</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 パット・ジトロウ・ミラー</td></tr> <tr><td></td><td>訳 二宮由紀子</td></tr> <tr><td></td><td>絵 アン・ウィルズドルフ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>光村教育図書</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>幼児～小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年1月</td></tr> </table>	5		書名	ソフィー、がっこうへいく	著者等	著 パット・ジトロウ・ミラー		訳 二宮由紀子		絵 アン・ウィルズドルフ	出版社	光村教育図書	定価	1,400	対象	幼児～小学校低学年	発行	2019年1月	<p>ソフィーは、1年生になったばかりの女の子。ソフィーはいつも学校には、かぼちゃのポニーとバクスターもいっしょにつれていく。学校の教室は騒がしいし、いすは固くてせまいし、ミルクはへんなあじだし...。ソフィーは学校が全然楽しくない。ステーブンに話しかけられるが、ソフィーは友だちはいらないと、だれとも口をきかず一人ですごしていた。次の日の夜、ソフィーは、カバンの中から、ステーブンの手紙を見つける。その夜ソフィーはじっと考えた、そして...</p> <p>軽やかなタッチの線と明るい色彩で描かれた絵が魅力的な絵本。</p> <p>(分類番号 726)</p>
5																				
書名	ソフィー、がっこうへいく																			
著者等	著 パット・ジトロウ・ミラー																			
	訳 二宮由紀子																			
	絵 アン・ウィルズドルフ																			
出版社	光村教育図書																			
定価	1,400																			
対象	幼児～小学校低学年																			
発行	2019年1月																			
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">6</td></tr> <tr><td>書名</td><td>どろだんご、さいた</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 中住千春</td></tr> <tr><td></td><td>絵 はせがわかこ</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>フレーベル館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,100</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年1月</td></tr> </table>	6		書名	どろだんご、さいた	著者等	著 中住千春		絵 はせがわかこ	出版社	フレーベル館	定価	1,100	対象	小学校低学年	発行	2019年1月	<p>もうすぐ2年生になる春休み、はるかの家族は新しい家に引越し、はるかは転校することになった。お別れの日、仲よしのすずちゃんかどろだんごを持ってきてくれる。はるかは新しい家でどろだんごを見ては、すずちゃんを思い出していた。新しい学校で友だちになったあみちゃんが、どろだんごを落としてひびが入ってしまう。ところが、そこから小さな芽が出ていて、はるかは植木鉢に移して育て、あみちゃんとも仲直りする。それを育てるとすずちゃんと遊んだ野原にあった白い花が咲く。幼い女の子の別れと出会いを描く物語。</p> <p>(分類番号 913)</p>		
6																				
書名	どろだんご、さいた																			
著者等	著 中住千春																			
	絵 はせがわかこ																			
出版社	フレーベル館																			
定価	1,100																			
対象	小学校低学年																			
発行	2019年1月																			

	<table border="1"> <tr><td colspan="2">7</td></tr> <tr><td>書名</td><td>しんぶんのタバー</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 荻原弓佳 絵 小池壮太</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>PHP研究所</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校低学年～小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年2月</td></tr> </table>	7		書名	しんぶんのタバー	著者等	著 荻原弓佳 絵 小池壮太	出版社	PHP研究所	定価	1,200	対象	小学校低学年～小学校中学年	発行	2019年2月	<p>西の方にあるイスーン国の王様が「いいイスコンテスト」をすることになった。新聞紙をたばねてひもでしばったタバーは、いつもおばあさんに「いいイスだ」といわれていた。タバーはコンテストに参加することにした。とちゅう、足がおれたゆりいすなどこわれたイスに出会い、はげましたり助けたりする。お城の門番にみんなを助けて下さいとつげ、くずれかけたタバーは気がつくとお城のなかでしっかりたばねられていた。王様やお妃様もタバーが気に入って、優勝する。身近な人に認められることが成功につながるメルヘン。</p> <p>(分類番号 913)</p>
7																
書名	しんぶんのタバー															
著者等	著 荻原弓佳 絵 小池壮太															
出版社	PHP研究所															
定価	1,200															
対象	小学校低学年～小学校中学年															
発行	2019年2月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">8</td></tr> <tr><td>書名</td><td>カイトとティムよるのぼうけん</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 石井睦美 絵 ささめやゆき</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>アリス館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,400</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年3月</td></tr> </table>	8		書名	カイトとティムよるのぼうけん	著者等	著 石井睦美 絵 ささめやゆき	出版社	アリス館	定価	1,400	対象	小学校中学年	発行	2019年3月	<p>カイトは6歳のお誕生日に「きょうからひとりでおねることにするよ」と宣言する。こわがっていたけれど、現れたのが、おてつだい妖精のティム。その日カイトとティムはジュラ紀を旅する。ティムがいなくなると朝になっていた。翌日はティムと宇宙を旅する。三日目は不思議なトランプたちと鬼ごっこしたり、かくれんぼをする。三日のあいだにカイトくんはひとりでおねむれるようになった。五日目は、前の日ティムは他の子のところに行っていたのだが、その子にしたお話の世界で遊ぶ。ひとりでおねむるようになるまでの五日間のファンタジー。</p> <p>(分類番号 913)</p>
8																
書名	カイトとティムよるのぼうけん															
著者等	著 石井睦美 絵 ささめやゆき															
出版社	アリス館															
定価	1,400															
対象	小学校中学年															
発行	2019年3月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">9</td></tr> <tr><td>書名</td><td>サーシャはプログラミングが大好き！コーディングと出会った少女の物語</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 サーシャ・アリエル・アルストン 監訳 藤井拓哉 翻訳 朝日小学生新聞 挿絵 パネッサ・フラントリー・ニュートン</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>朝日学生新聞社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,100</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校中学年～小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2019年3月</td></tr> </table>	9		書名	サーシャはプログラミングが大好き！コーディングと出会った少女の物語	著者等	著 サーシャ・アリエル・アルストン 監訳 藤井拓哉 翻訳 朝日小学生新聞 挿絵 パネッサ・フラントリー・ニュートン	出版社	朝日学生新聞社	定価	1,100	対象	小学校中学年～小学校高学年	発行	2019年3月	<p>サーシャは4年生の夏休みの体験学習で、プログラミングの一部であるコーディングを選ぶ。ソフトウェア開発者のママからコーディングを学べばゲームやアプリを作ったりできると聞き、興味をもったからだ。サーシャは友だちといっしょにコーディングに挑む。コーディングとは、パソコンがわかる言語でさせたいことを伝え、プログラムを組んで走らせ、誰かと共有することだ。女の子が科学技術に接して研究し、創造的で大きな夢をもってほしいという作者の願いがこめられている。21歳の女子大生が書いた、少女がコーディングに出会う物語。</p> <p>(分類番号 933)</p>
9																
書名	サーシャはプログラミングが大好き！コーディングと出会った少女の物語															
著者等	著 サーシャ・アリエル・アルストン 監訳 藤井拓哉 翻訳 朝日小学生新聞 挿絵 パネッサ・フラントリー・ニュートン															
出版社	朝日学生新聞社															
定価	1,100															
対象	小学校中学年～小学校高学年															
発行	2019年3月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">10</td></tr> <tr><td>書名</td><td>落語ねこ</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 赤羽じゅんこ 絵 大島妙子</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>文溪堂</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>対象</td><td>小学校高学年</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年11月</td></tr> </table>	10		書名	落語ねこ	著者等	著 赤羽じゅんこ 絵 大島妙子	出版社	文溪堂	定価	1,300	対象	小学校高学年	発行	2018年11月	<p>五年生の七海はおじいちゃんからクマハチというデブネコをあずかった。クマハチには交通事故で命を落とした落語家の大福の幽霊が、成仏しないのでりうつっていた。七海は絶交番長といわれて孤立し、学校へ行けなくなっていた。あやねがラインで流したメールが原因らしい。クマハチにのりうつった大福が、たまたまそのことを聞き、あやねに「七海が悲しんでいる」といってしまふ。気味悪がられたが、ふたりはそれで仲直りができた。大福の心残りは恋人だった落語家の夏菜さんに指輪を渡すことだった。笑いと涙のファンタジー。</p> <p>(分類番号 913)</p>
10																
書名	落語ねこ															
著者等	著 赤羽じゅんこ 絵 大島妙子															
出版社	文溪堂															
定価	1,300															
対象	小学校高学年															
発行	2018年11月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">11</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ナチスに挑戦した少年たち</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 フィリップ・フーズ 訳 金原瑞人</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>小学館</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年7月</td></tr> </table>	11		書名	ナチスに挑戦した少年たち	著者等	著 フィリップ・フーズ 訳 金原瑞人	出版社	小学館	定価	1,500	対象	中学生～	発行	2018年7月	<p>1940年デンマークはナチスドイツの平和的占領を受け入れた。闘わずして降伏した大人たちに失望した十代の若者が集まり、密かに抵抗運動を始める。本書は実在のレジスタンスグループ「チャーチルクラブ」の物語だ。彼らの活動は、始めは道路標識の向きを変えたり電話線を切ったりしては自転車で逃げる少年らしいものだったが、次第にエスカレートし、武器を奪いトラックに火をつけ、爆弾まで製造するようになっていく。そんな彼らの活動はデンマークのレジスタンス運動に火をつけ、当然ドイツ軍は躍起になって彼らを追うようになる。そして逮捕の手が迫って……。中心メンバーへのインタビューをもとに書きあげられた、勇気ある少年たちの感動の記録。</p> <p>(分類番号 238)</p>
11																
書名	ナチスに挑戦した少年たち															
著者等	著 フィリップ・フーズ 訳 金原瑞人															
出版社	小学館															
定価	1,500															
対象	中学生～															
発行	2018年7月															
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">12</td></tr> <tr><td>書名</td><td>ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾</td></tr> <tr><td>著者等</td><td>著 佐藤真澄</td></tr> <tr><td>出版社</td><td>汐文社</td></tr> <tr><td>定価</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>対象</td><td>中学生～</td></tr> <tr><td>発行</td><td>2018年7月</td></tr> </table>	12		書名	ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾	著者等	著 佐藤真澄	出版社	汐文社	定価	1,500	対象	中学生～	発行	2018年7月	<p>日本国内はもちろん、全世界から人々が訪れるヒロシマ、水と緑の美しい街にある平和記念資料館は、原爆の恐怖と平和の祈りを発信し続けている。この記念館は、実は長岡省吾という一人の男の執念から生まれたものだった。地質学者だった長岡は被爆直後のヒロシマに入り、破壊された町を歩き回り、高熱で変形した瓦やガラスに驚嘆し、被爆資料の収集を始めた。科学者としての未知の現象への好奇心は、やがて生かされた自分の責任を果たすという義務感に変わっていく。彼は原爆症に苦しみながらも数々の困難を乗り越え、強い意志を持って資料館を建設した。決して平坦ではなかったその道を、生涯をかけて突き進んだ長岡があり、今がある。平和を望む者の知るべき事実がここにある。</p> <p>(分類番号 916)</p>
12																
書名	ヒロシマをのこす 平和記念資料館をつくった人・長岡省吾															
著者等	著 佐藤真澄															
出版社	汐文社															
定価	1,500															
対象	中学生～															
発行	2018年7月															

	<b>13</b>		<p>詩人大岡信が朝日新聞に6762回にわたって連載していた詩歌選集「折々のうた」から100の短歌と俳句をえらび10歳から読めるように編集してある。解説は大岡の原文のまま載せ、詩歌の現代語訳、言葉の解説、挿絵などを添えてある。自然美、恋愛、人生、老い、死、戦争などなど、テーマは多岐にわたり、「子ども向け」には編集されていない。それは、子どもたちは「やがて大人になる」のだし、「人生は子ども向けにはできていない」から。先人の残した優れた詩歌を通してそれを知って欲しい、という編者の願いによるものだ。手元に置いて何度も読み返したくなる一冊。</p>
	書名	子ども「折々のうた」100	
	著者等	著 大岡信 監修 長谷川權	
	出版社	小学館	
	定価	1,500	
	対象	小学校高学年～	
	発行	2019年2月	
			(分類番号 911)
	<b>14</b>		<p>ファッションと裁縫が大好きな少年フランスは、その趣味のために学校では孤立していた。ある日ジェシカという少女と知り合うが、彼女はなんと幽霊だった。他の人には見えない彼女だが、二人は趣味が同じで、すぐに意気投合しいつも一緒に過ごすようになる。やがてジェシカが見えるちょっと変わった子が二人現れ、四人は最高の仲間になり、毎日を楽しむようになった。だが、ジェシカには、本人にも記憶のない死を巡る謎があった。その謎が明かされると、ジェシカが現れた本当の意味がわかり……。 「人と違う」ことを負い目に感じ、「穴」に落ちる子供たち。だが、「仲間がいれば世界が変わり奇跡が起きる！」というメッセージを、ユーモアで包んで描いたさわやかな物語。</p>
	書名	ぼくにだけ見えるジェシカ	
	著者等	著 アンドリュウ・ノリス 訳 橋本 恵	
	出版社	徳間書店	
	定価	1,500	
	対象	中学生～	
	発行	2019年2月	
			(分類番号 933)
	<b>15</b>		<p>いつものように朝食を食べていたその朝、突然父親が逮捕された。容疑は「殺人」。その日を境に平凡だった家庭は「加害者家族」となり、生活が一変した。中学3年の涼平は、父を信じ母を支えたいと思うが、父は面会を拒絶し、事情も分からない。そして実名報道があり、家族は執拗な取材や中傷を受けるようになる。誰にも告げずに転居し、名前を変えて転校した涼平は、一切から心を閉ざすようになった。だが新しい学校で、そんな彼の心を揺さぶる事件が起きて……。マスコミの加熱する報道の後ろに、興味本位な視聴者がいる。加害者家族の悲しみや混乱をていねいに描き、犯罪報道のあり方や加害者家族の人権問題を問う意欲作。</p>
	書名	羊の告解	
	著者等	著 itouみく	
	出版社	静山社	
	定価	1,300	
	対象	中学生～	
	発行	2019年3月	
			(分類番号 913)
	<b>16</b>		<p>大阪近郊の暁町にあるあかつきマーケットのマスコットキャラクターあかつきんが、ある日突然失踪する。そして町のあちこちに現れ、人助けをするようになる。母と息子、上司と部下、フリーターの青年、姉と弟、恋人たち。お花屋さん、自転車屋、菓子屋、ピアノ教室。そして、まもなく閉店することになった「あかつきマーケット」。さまざまな葛藤を抱え、広いようで狭い町の中で生きている人々を主人公とし、そこに暮らす人たちの日常が描かれる。一話ごとに中心人物が変わり、それぞれの人物にそれぞれの物語がある、優しく心に寄り添う連作短編集。</p>
	書名	夜が暗いとはかぎらない	
	著者等	著 寺地はるな	
	出版社	ポプラ社	
	定価	1,600	
	対象	高校生以上	
	発行	2019年4月	
			(分類番号 913)
	<b>17</b>		<p>15歳の少女テイラーは2年前に父を交通事故で亡くした。証券会社に勤めていた父の死はスキャンダラスに報じられ、母は精神バランスを崩してしまう。父の死に疑問を持ち、母の強迫観念に追い詰められ、心に壁を作ったテイラーの心の支えは親友のオリーブと猫のアップルだった。ある日、テイラーは強盗に襲われ危篤状態になってしまう。病室に現れた空想上の友達ジョイに導かれ、彼女は二つの人生を生きどちらかを選択するように告げる。それぞれの人生で様々な出会いと学びを得たテイラーの選択は？ 「12歳の文学賞」大賞受賞の16歳作家による物語。</p>
	書名	アップルと月の光とテイラーの選択	
	著者等	著 中濱ひびき 訳 竹内要江	
	出版社	小学館	
	定価	1,800	
	対象	高校生以上	
	発行	2019年4月	
			(分類番号 933)

	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">18</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>おやすみの歌が消えて</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 リアノン・ネイヴィン 訳 越前敏弥</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>集英社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年1月</td> </tr> </table>	18		書名	おやすみの歌が消えて	著者等	著 リアノン・ネイヴィン 訳 越前敏弥	出版社	集英社	定価	2,200	対象	高校生以上	発行	2019年1月	<p>小学校に銃声と叫び声が鳴り響く。ザックはマッキンリー小学校に通う1年生。学校内に侵入してきた「じゅうげき犯」から隠れるため、担任のラッセル先生やクラスメイトたちと教室のクロゼットにいる。たくさんのパンという音がいつせいに鳴り響いた後で救出されたが、兄のアンディは「じゅうげき犯」に殺されてしまった。それ以来、母は毎晩のおやすみの歌を歌ってくれないし、父の様子もおかしい。ひとりぼっちのザックは、アンディのクロゼットを自分の秘密基地にして思い悩む。アメリカで多発する銃乱射事件を6歳の視点で描く家族の絆と再生の物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 933)</p>
18																
書名	おやすみの歌が消えて															
著者等	著 リアノン・ネイヴィン 訳 越前敏弥															
出版社	集英社															
定価	2,200															
対象	高校生以上															
発行	2019年1月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">19</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>みかんとひよどり</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>著 近藤史恵</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>KADOKAWA</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年2月</td> </tr> </table>	19		書名	みかんとひよどり	著者等	著 近藤史恵	出版社	KADOKAWA	定価	1,500	対象	高校生以上	発行	2019年2月	<p>35歳の潮田亮二は、最近始めた狩猟の出先で遭難し死を覚悟するが、無愛想な猟師の大高重実に助けられる。潮田はフランスと日本の修行先では優等生だったが、料理人となってスタートした店はすべてうまく行かず、今はジビエ好きのオーナーが経営する京都のフレンチレストランで働いている。ジビエを店を出したいと考えた潮田は大高の仕留めた獲物を購入したいと交渉するが、人生を複雑にしたいくないと断られる。ところが大高の家が火事で焼けてしまい、状況が変化する。いろいろな背景を持つ人々の中で、少しずつ自分を見出していく成長物語。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 913)</p>
19																
書名	みかんとひよどり															
著者等	著 近藤史恵															
出版社	KADOKAWA															
定価	1,500															
対象	高校生以上															
発行	2019年2月															
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" style="background-color: yellow;">20</td> </tr> <tr> <td>書名</td> <td>ザ・ディスプレイスト 難民作家18人の自分と家族の物語</td> </tr> <tr> <td>著者等</td> <td>編集 ヴィエト・タン・ウエン 訳 山田文</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ポプラ社</td> </tr> <tr> <td>定価</td> <td>1,700</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>高校生以上</td> </tr> <tr> <td>発行</td> <td>2019年2月</td> </tr> </table>	20		書名	ザ・ディスプレイスト 難民作家18人の自分と家族の物語	著者等	編集 ヴィエト・タン・ウエン 訳 山田文	出版社	ポプラ社	定価	1,700	対象	高校生以上	発行	2019年2月	<p>「ザ・ディスプレイスト」とは、土地を追われた者、移動を余儀なくされた者たちのこと。アフリカ、中東、東欧、東南アジア、南米など世界各地からアメリカやカナダに逃れた、難民としての出自を持つ作家18人によるエッセイ集。自分自身の過去や家族の記憶と向き合い、喪失のすべてに声を与え、さまざまな難民として生きる人たちの声に耳を傾けていく。この本がアメリカで観光されるきっかけとなったのは、トランプ大統領就任に続く排外的政策・感情が高まったことだった。他者に共鳴し、共感と想像力を呼び起こす異色のアンソロジー。</p> <p style="text-align: right;">(分類番号 936)</p>
20																
書名	ザ・ディスプレイスト 難民作家18人の自分と家族の物語															
著者等	編集 ヴィエト・タン・ウエン 訳 山田文															
出版社	ポプラ社															
定価	1,700															
対象	高校生以上															
発行	2019年2月															